

忍野八海

従来、富士講の巡礼者は、富士山に登る前に「内八海」と総称される富士五湖と3つの湧水池のひとつひとつで数日間かけて身を清めました。19世紀半ばには、大寄友右衛門という学者気質の信者が、近くの忍野の水域を8つの神聖な「湖」になるよう形を変えることでその準備期間を1日に短縮するというプロジェクトを立ち上げました。これらの湖には富士山の伏流水が流れ込んでいるため、内八海と同様に清めることができると考えられていました。また、新たに作られた「忍野八海」への来訪者は、この村に非常に求められていた収入をもたらしました。

レストランや土産物店に囲まれたこの村の中央に位置する池は、さらに後ほど造られたもので、忍野八海のひとつとは考えられていないということにご留意ください。

八大竜王

忍野八海の池のひとつひとつには和歌が刻まれ、法華経に登場する八大竜王のひとつを祀った石碑があります。池とそれぞれの池に関連する竜王の一覧は以下の通りである。

1. 出口池難陀竜王
2. お釜池跋難陀竜王
3. 底抜池娑加羅竜王
4. 銚子池和脩吉竜王
5. 湧池徳叉迦竜王
6. 濁池阿那婆達多竜王
7. 鏡池摩那斯竜王
8. 菖蒲池優鉢羅竜王